

基礎経済科学研究所 自由大学院

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第867回ゼミ報告] 2023年11月3日号

街を走る宅急便。突然、個人事業主3万人の契約解除の報道、管理され労働者性が高い。団体交渉拒否・不当労働行為・契約解除撤回を求める。

10月25日のゼミは、斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』の最終、第6章「コミュニズムが不可能だなんて誰が言ったか」の後半を後藤さんの報告で行いました。自給型の使用価値経済社会への転換、構想と実行の分離をなくし脱成長、商品・貨幣に依存しないコモンへ。脱商品化=コモン領域拡大、全面的に発達した個人が生きる社会。都市と農村・先進国と途上国の分断の克服。資本論は未完に終わるが未来社会の姿・道程を描き切っていない。ミュニシパリズム・積極的地域自治主義の国際的ネットワーク。ドーナツ経済：内側に社会的基盤、外側に環境上限を描き、ドーナツの穴に落ちるか、ドーナツの外へ突破する、そこに両方の円の間に入る生活から脱成長型経済への転換を描く。商品化からコモン化への転換を目指すコミュニズムの闘い、しかしパンデミック・戦争・気候危機の時代は強い国家へ、その暴走への抗いと自由・平等の可能性を資本論から学ぶ。資本論による資本主義批判とコミュニズム論入門、違った視点から読み直す。報告者から指摘の論点：晩期マルクスは生産力至上主義・西洋中心主義・国家権力奪取主義から転換し脱成長コミュニズム、アナークスト・コミュニズムの立場に立ったのか、ソ連型・中国型社会主義と異なる革命思想の樹立の論証に成功しているのか。

討論では、欧州のように下からの改革が日本でできるのかどうか。ミュニシパリズム・再公営化の動きと東京杉並区長、脱炭素社会・石炭火力からの脱出・市民運動としての郊外闘争の経験、さらに自由民権運動など、現代から遡ることのできる下からの運動の歴史がある。コモンとして共同・協同・協働から、今注目するのは労働者協同組合。アソシエーションとしての協同組合を示すが、それに対する国家権力の問題を斎藤氏は言わない。

会場参加は川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は後藤さん・斎藤さんの5名でした。

* 11月8日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 878 3474 9382 パスコード: 754148

* 11月25日ゼミで、斎藤幸平本を終わりました。11月22日からのテキストはレーニン『帝国主義論』です。新刊本は光文社古典新訳文庫、古本は大月国民文庫、岩波文庫などが手に入ります。

***** ゼミ日程 *****

11月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第3部1章 経済学批判 報告小野さん

11月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』序文・1生産集積と独占体 報告竹内さん

12月13日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第3部3章 資本=ネーション=国家 報告者未定

その後 12/27 [アイクルの部屋] 2024/1/10, 1/24, 2/14, 2/28, 3/13, 3/27

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso